



八雲

学校だより2月号

令和8年 1月 30日

目黒区立八雲小学校

「春隣」

校長 藤井良江

冬の終わりから春先へと季節が移り変わる中で繰り返される寒暖により、校庭の桜の花芽もが少しずつ膨らんでいきます。桜は、秋に葉が落ちたあとに、冬の寒さにさらされると、徐々に眠りから覚めるので、桜にとっては、春の暖かさも冬の寒さも必要なのだそうです。「春隣」や「三寒四温」と言ったこの時期ならではの言葉を子どもたちに伝え、自然への興味や関心を引き出していきたいと思っています。

さて、先日の住区主催「新年お楽しみ会」の日は、恒例の餅つきや伝承遊びコーナーで、皆、とても楽しそうでした。日頃、子どもたちの遊びや遊び方を聞くと、「ゲーム!」との返答が目立ちます。元来、成長期における遊びの中でボディイメージを獲得し、様々な力を自然に伸ばしていくものですが、遊び場や時間減少に伴い、疑似体験や間接体験増加の反面、実際の生活体験の減少により、その伸びが危惧されています。

児童館の館長先生からも、「気持ちに合わせて、成立させる」ことの大切さを伺いましたが、八雲の校庭で、大人も子どもと一緒にチャレンジする姿から、世代関係なく、誰もが楽しめる「伝承遊び」の良さを改めて、感じた一日でした。伝承遊びは、子供の発達を促進し、社会性や集中力、バランス感覚、五感等の育みにも重要な役割を担いながら、受け継がれてきています。

学校でもちょうど、2月に低学年が地域の方々との遊びの時間を計画しています。複数人で行う遊びの多さは、コミュニケーション力、チームワーク力、社会性の向上等の期待も高くあります。

次年度、さらに形を拡げ、意図的に教育活動に取り入れていきたいと考えています。

※主な行事予定をここでお知らせします。

【2月の主な行事予定】

- 2/4 (水) 5年社会科見学
- 2/7 (土) 学校公開
- 2/9 (月) 振替休業日
- 2/19 (木) 新1年生保護者会
- 2/25 (水) 6年遠足

八雲小学校の交流及び共同学習について

目黒区に6つある特別支援学級の1つが八雲小学校3くみです。八雲小学校では特別支援学級に在籍する児童と通常の学級に在籍する児童がともに学び合うことを通して、より様々な考え方や活動の仕方を認め、自らの日常の学びに生かしていくことにつなげていくために、年間を通して3くみとの交流及び共同学習を行っています。

具体的な場面としては、行事や八雲タイム、縦割り班活動などへの参加です。また、3くみ児童のニーズに合わせて算数や図工などの交流も行っています。

1月は3くみの1年生が、1年1組で算数「かたちづくり」の学習を一緒に行いました。1組の児童にとっては、友達と色板や数え棒で作った作品を見せあう機会、3くみ児童にとっては大きな集団の中で一緒に学ぶ楽しさを感じる機会をもつことができました。

今後お互いを認め合い、ともに成長し合える交流を計画していきます。

ハンカチ・ティッシュの持参について

寒さが続き、空気が乾燥する時期は、風邪や感染症の予防が一層大切になります。手洗いや咳エチケットを徹底する中で、ハンカチやティッシュは、子どもたちが自分の健康を守るために欠かせない持ち物です。

最近、持参していないお子さんも見受けられ、手を洗った後に服で手を拭く姿も見られます。衛生面や身だしなみの観点からも、毎朝の持ち物確認の際には、ハンカチ・ティッシュの準備とともに、忘れてしまった時のために、予備をランドセルに入れておくなどの対応をお願いします。

生活目標「外で元気よく体を動かそう」

寒さが厳しくなると、つい室内で過ごしがちになりますが、子どもたちの健やかな成長のためには、寒さに負けず、外で体を動かすことがとても大切です。

冬の外遊びは、体力や免疫力を高めるだけでなく、気分転換や友達との関わりを深める貴重な時間でもあります。学校では休み時間に外で遊ぶ、ご家庭では休日に家族で散歩をするなど、日常の中で無理なく体を動かす機会を大切にしています。防寒対策をしながら、健康的な生活習慣の定着に取り組んでまいります。